

市民・転入者アンケート調査について

1. 調査目的

本調査は、令和3年度から令和12年度までの10年間のまちづくりの指針となる新たな総合計画の策定にあたり、市民のまちづくりに対する意識やニーズを把握し、その結果を基礎資料として活用するため実施します。

2. 調査概要

調査概要を下表のとおり示します。

区分	市民アンケート	転入者アンケート
目的	石巻市での暮らしやニーズの傾向を把握し、まちづくりに対する課題を抽出・分析することを目的とする	石巻市への転入のきっかけや石巻の魅力などを把握し、移住定住の促進や関係人口拡大に向けた課題を抽出・分析することを目的とする
対象者	石巻市に居住する 18歳以上の市民	過去3年間で石巻市に 転入した18歳以上の市民
配布数	3,000人	500人
抽出方法	無作為抽出 基準日（令和元年10月末）	
調査期間	令和元年11月中旬～12月上旬 予定	
調査方法	郵送による配布・回収	
調査内容	表1 市民アンケート調査項目	表2 転入者アンケート調査項目

3. 対象人数の妥当性

■市民アンケート

市民アンケートについては、回答の信頼性を高めるための配布数を設定しています。下表は、石巻市の人口を当てはめた場合の、統計学的に必要なとされる「信頼度」と「誤差」ごとに必要な回収数となっています。

国の統計調査基準で求められる回収数は信頼度95%、誤差5%であるところ、今回の調査では、配布数3,000に対して回収率を30%と想定した場合、約1,000人からの回答を得ることができると考えられるため、信頼度95%、誤差3%で高い信頼性を確保できる調査と考えられます。

		信頼度		
		90%	95%	99%
誤差	3%	753	1,060	1,826
	5%	272	384	663
	10%	69	96	167

今回の想定に近い回収数

国の統計調査基準で求められる回収数

■転入者アンケート

転入者アンケートについては、配布数500に対して、回収率30%を想定した場合、回収数は約150となります。下表は、石巻市の転入人口を当てはめた場合の、アンケート必要サンプル数となっています。

転入者アンケートの場合、誤差が10%に抑えられることができれば、転入者の考えの傾向を把握するという点から十分と考えるため、配布数を500と設定しました。

		信頼度		
		90%	95%	99%
誤差	3%	656	877	1,343
	5%	258	357	587
	10%	68	95	161

誤差を10%以内に収めることができる回収数

表1 市民アンケート調査項目

設 問	総合計画への反映
問1 属性 ア) 性別 イ) 年齢 ウ) 世帯構成 エ) 居住地域 オ) 職業 カ) 勤務地・通学地	各属性の特性を把握する。
(2) 石巻での暮らし 問2 居住期間 問3 住みやすさ 問4 居住継続意向 問5 住み続けたい理由 問6 住み続けたくない理由	現在の石巻市の住みやすさと、強み・弱みを把握する。
(3) 石巻市の取り組みの満足度・重要度 問7 石巻市の取り組みの満足度・重要度 ※項目の設定については、現行計画策定時アンケート項目を、現代のトレンドや石巻市の状況に合わせながら調整を行った。	取り組みの優先度を評価し、取り組みの優先順位を把握する。
(4) 今後のまちづくり 問8 どんな都市になってほしいか 問9 大切にしたいキーワード 問10 キャッチフレーズ	施策展開の基本となる将来の目標像、あるべき姿を把握する。

表2 転入者アンケート調査項目

設 問	総合計画への反映
問1 属性 ア) 性別 イ) 年齢 ウ) 世帯構成 エ) 居住地域 オ) 職業 カ) 勤務地・通学地	各属性の特性を把握する。
(2) 今回の転入について 問2 転入のきっかけ 問3 転入前の石巻とのつながりの有無 問4 つながりの内容 問5 情報入手手段	人口減少対策に向け、移住定住の促進や関係人口拡大に向けて、必要な要素や課題を把握する。
(3) 石巻市での暮らし 問6 住みやすさ 問7 居住継続意向 問8 住み続けたい理由 問9 住み続けたくない理由	現在の石巻市の住みやすさと、強み・弱みを把握する。
(4) 今後のまちづくり 問10 どんな都市になってほしいか 問11 大切にしたいキーワード 問12 キャッチフレーズ 問13 まちづくり提案	施策展開の基本となる将来の目標像、あるべき姿を把握する。

